



第195号 創立90周年特集号

◇ 退任挨拶 ◇

創立九十周年を祝して



前会長 川島孝夫
(昭和31年卒)

(平成十六年六月二十一日(十六年度総会)会長に就任し、以来二期四年間にわたり皆様の温かいご支援のもと会長の職を続けて参りましたが、この度の総会で橋田恭一新会長に無事バトンタッチすることができたことを会員皆様に心から感謝申し上げます。安島前会長の健康上の理由で急遽会長に推挙され、卓越した見識と豊かな経験のもと絶大な信望をもつた前会長の後を引き継ぐことには不安一杯のスタートでしたが、幸い前会長のご助言と幹事長はじめ夕陽を愛して止まない役員皆様のご支援をいただき大役を果すことが出来ましたことを幸せに存じております。

ときあたかも、母校の再編に伴い教員養成課程から人間地域科学課程への移行問題・夕陽会創立九十周年記念行事開催準備等大きな課題を抱えての船出でしたのが、新課程発足後心配されていた学生の応募状況も順調に経過し、五分校中一番生徒数の多いキャンパスとして賑わつている様子を見聞き安堵しているところです。また、九十周年記念行事は天候にも恵まれ、全国各地から参加した同窓が一堂に会し輝かしい九十年の歴史をお祝い了出来たことを心から喜びたいと思います。また、物心両面にわたるご支援いただきました会員皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。特に、祝賀会に参加いただいた中に大先輩で名古屋からご参加いただいた参加者中最高齢九十八才の萩原忠臣氏(昭和5年卒)地元からは九十二才の細田辰男氏・近藤富太郎氏(昭和11年卒)のお姿もあつたことはまさに周年記念の意義を感じさせられるものでした。

九十周年事業で何をするかと考えた時のではないかと考え、実行委員会で議論の結果、十年後の百周年に先輩の足跡を繋げる為にも九十年の歴史を集積していく夕陽記念館修復に取り組むべきであるということになり、母校の協力や会員皆様のご理解をいただきながら五月二十三日、リニューアルオープニングセレモニーを済ませることが出来ました。大正三年以来九十四年間風雪にさらされ建ち続けってきた木造旧校舎の一部が昔の面影をそのままに残し修復され、母校と夕陽会の発展の歴史や諸先輩の足跡を陳列・収納し、十年後の百周年に繋げる事ができることを皆様と共に喜びご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

また、在任中全国各支部を訪問する度に感じたことは、母校に教員養成課程が無くなることへの寂しさを胸にしながらも、本部事業への理解と母校への支援を約束してくれる同窓の思いに勇気付けられましたことです。夕陽贊歌「拓北の熱き想いに集い来し」で始まり、最後は寮歌「巴湾の水の精を掬み亀田の森の靈を採り」を全員で一体となり肩を組み、手を繋ぎ歌に込められた魂を思いながら同窓の絆を確かめ合う姿に何時も感激させられました。

最後になりましたが幾度となく貴重なご示唆を頂いた前安島会長・前藤川幹事長、と共に汗を流してくれた須藤幹事長はじめ歴代の本部役員・事務局員の皆様にはお礼と感謝を申し上げます。

ご支援ありがとうございました。



就任ご挨拶

会長 橋田恭一
(昭和39年卒)

六月二十一日の平成二十年度の総会におきまして、このたびご勇退されました川島孝夫前会長の後任として選出され、会長に就任いたしました。もとより力量不足ではございますが、幸い副会長はじめ正副幹事長、事務局の皆様など、多くの方々が引き続き業務を継続していくたくことなり、大変心強く感じております。これからは優秀なスタッフの方々と力を合わせ、会長としての職責を果たしていきたいと思つております。前会長川島孝夫様におかれましては、二期四年に亘りまして夕陽会の発展のためにご尽力いただきました。温厚で誠実、包容力溢れる人柄に加え、高い見識と豊かな経験を駆使されて会務に精励努力されてくださいました。

特に、今年度、夕陽会は創立九十年を迎えることになりました。この記念すべき節目に川島前会長は記念式典、祝賀会をはじめ、夕陽音楽会、夕陽バネル展、創立九十年記念誌の発行等、様々な事業を行い、大いに会員の所属意識の高揚と資質の向上、そして地域文化の振興に努めてくださいました。

また、私たちの心の故郷であります夕陽記念館の改修にも尽力され、このほどリニューアルオープンいたしました。五月二十四日にセレモニーを行ひ会員多数が参加し、改修工事の完成を祝福しました。夕陽記念館は函館校が開校以来、脈々と受け継いできた建学の精神を後世に伝える心の拠り所であります。先達の思いが伝わり教職を志す者、現在教職に身を置く者が等しく初心に帰れる場として今後大切に保存活用していかなければ

なりません。改めて川島前会長のご功績に、会員を代表し心から感謝申し上げる次第です。

さて、我々の母校である函館校は、平成十八年度から北海道教育大学の改革に伴い「人間地域科学課程」として、人間と地域をキーワードに新たにスタートしました。これまでの教員養成課程は今年度をもってピリオドを打つことになります。今後、一般大学と同様に教員免許の取得は可能であります。教職を目指す者は減少していくでしょう。一方で教職の一般的企業や公務員等の職種を目指す者が多くなるのは当然であります。

そうした卒業生の職種の多様化に伴い、近々夕陽会としても教職オブリーの組織の見直しを図ることが迫られています。函館校の将来に不安と焦燥のなかから、母校はこれまでの教員養成主体から新課程の誕生という大きな変革を余儀なくされた現在、夕陽会としてもこうした現状にあつて、新しい夕陽会の在り方について真剣に考えなければなりません。

本年度はあたかも、夕陽会創立九十年に当たり、夕陽記念館改修・記念式典・祝賀会等の諸事業を滞りなく、かつ盛大に実行なわれたのであります。

まさに、痛みを負いながらも「夕陽」にかける会員一同の意識と結束力の強さをここにたぎらせ、これから夕陽会の進むべき道が開けた思いでした。

「善人と居るは、芝蘭の室に入るが如し」とか。夕陽会は、今後も永く同窓生が互いに交わりを深め、心を通わせ、励まし合いながらともに歩み、よい感化を受ける場でありたいと願っているものであります。ご支援ありがとうございました。

退任あいさつ

前監査 今野久男
(昭和35年卒)



退任ご挨拶

***瑞宝双光章**

及川悌三郎 氏 昭和16年I卒
岩手県盛岡市小杉山八の九

桜井 秀雄 氏 昭和22年卒

受章(賞)おめでとうござります

＊北海道書道展 準大賞

葛西 広治 氏 昭和63年卒
函館市立北中学校

＊毎日書道展 会員賞

鈴木 孝徳 氏 昭和55年卒
市立函館高等学校

会を指していきたいと考えています。皆様方の更なるご支援、ご鞭撻を、よろしくお願ひ申し上げます。

夕陽会創立九十周年記念式典

口ワジールホテル函館の彩海の間では、会員それぞれが九十周年への思いを込めながら、静かに式典の開始を待っていました。

来賓の方々のご入場後、それまでの静かな雰囲気から、式典への喜びを一気に爆発させるように、母校吹奏楽団によるオープニング演奏が始まりました。

NHK大河ドラマ「新鮮組！」のメインテーマが勇壮に演奏され、会場全体が

九十周年を祝う気持ちに溢れました。演奏が終わり、会場の興奮を残しながら、夕陽会九十年の歴史の中、ご逝去された同窓会員の皆様の遺徳を偲び、会場全体で黙祷を捧げ、敬意と感謝を込めながら、哀悼の意を表しました。

尾島悌介副会長（昭和3年卒）の開会の辞により、いよいよ夕陽会創立九十周年記念式典が挙行されました。その後、再び母校吹奏楽団の演奏による夕陽賛歌を参加者全員で、高らかに歌い揚げながら、夕陽会九十年の重みを参加者がしつかりと共有することができました。

夕陽会の開会式典は、教員養成課程から人間地域科学課程へと生まれ変わった。九十周年記念行事を通して、数々の困難な壁を乗り越え、長い歴史と伝統を積み上げてくださった先達の想いを感じつつ、その九年の伝統を基礎として新しい夕陽会の在り方と発展の道を考える機会としたい」との期待を話されました。

そして、会員の総意により改修された夕陽記念館に九十年の重みと母校の新しい発展を重ねながら「夕陽とこしえに」と式辞を結びました。

式典のために、ご出席いただいたご来賓の祝辞では、北海道教育庁学校教育長 穂積邦彦様より夕陽会創立九十周年へのお祝いと、「北海道教育を支える重要な役割を担い、教育界はもとよりあらゆ



る分野でその才能を發揮し、広く道内外で活躍する夕陽会の皆様へ敬意を表する」というお話をあり、「教育改革の中、創造し行動する夕陽会として、北海道の子どもたちに生きる力を身につけさせるため、日々の実践を積み重ね、本道教育の発展に一層の力添えをいただきたい」と期待を述べられました。

続いて、函館市副市長 工藤壽樹様から、九十年の歴史を刻み、二万名の同窓会員が誕生の歴史に触れたという夕陽会誕生の歴史に触れました。

また、この九十年間の激動の時代、母校建学精神の「土地墾闢・人民藩殖」を胸に、道内外で広く活動し地域貢献をしてこられた先輩各位への感謝と敬意を表しました。

さらに、今後の夕陽会の在り方に触れる「母校は教員養成課程から人間地域科学課程へと生まれ変わった。九十周年記念行事を通して、数々の困難な壁を乗り越え、長い歴史と伝統を積み上げてくださった先達の想いを感じつつ、その九年の伝統を基礎として新しい夕陽会の在り方と発展の道を考える機会としたい」との期待を話されました。

夕陽会の開会式典は、教員養成課程から人間地域科学課程へと生まれ変わった。九十周年記念行事として、教育大北方資料館・夕陽記念館大規模改修、第九回夕陽音楽会の開催、九十周年記念誌の発刊等が報告されました。

最後に北海道教育大学長 本間謙二様からは、「修復された夕陽記念館は、北海道の財産である。その保護に全力をつくしたい」と話され、さらに「函館校の人間地域科学課程は、既に世の中にしっかりと認知され、教員養成を含めた地域人材養成を行うという重大な役割を持つている。函館校とこそいになるよう全力を尽くしていきたい」との力強いお言葉をいただきました。

最後に中川眞一郎副会長（昭和40年卒）の「輝かしい歴史を胸に次の時代を若き後輩達と共に進んでいくことを誓いたい」という言葉で閉会となりました。

（昭和54年卒 情宣部 戸澤和彦記）

められ、夕陽会に多大なご貢献をされた安島進顧問（昭和24年卒）の功績表彰が行われました。

安川島会長より感謝状を受けた安島顧問は、謝辞の中で八十周年記念式典の思い出を語りました。

ながら、共に式典事業を成し遂げた故人に思いを馳せ、九十周年にバトンタッチできました。次に須藤由司幹事長（昭和52年卒）より九十周年記念行事・事業について、教育大北方資料館・夕陽記念館大規模改修、第九回夕陽音楽会の開催、九十周年記念誌の発刊等が報告されました。

続いて、夕陽会メモリアルとして、過去の貴重な映像がスクリーン一杯に映し出されました。六十周年記念式典の様子がモノクロで映されると、会場からは、懐かしさから思い出を語る声があちらこちらから聞こえました。その後も第一回夕陽音楽会、八十周年記念式典、夕陽書道展、夕陽美術展、夕陽記念館改修等、夕陽会の歴史と参加者が自らを重ね合わせることのできたひとときでした。



夕陽会九十周年記念祝賀会

八百六十名を越える会員が集う国際ホテル二階ホールには、九十周年を祝う喜びと祝賀会への期待感による熱気に入まつてました。多くの参加者が卒業年次毎に天平の間、高砂の間に別れ、開会の時を待つていました。二つの会場をつなぐ大スクリーンには順次行われる祝賀会の模様が映し出されました。

およそ九十名に及ぶ来賓の方々が入場すると、会場は大きな拍手に包まれました。

司会を務める土谷敬副幹事長（昭和54年卒）の進行のもと、中瀬裕義副会长（昭和34年卒）の「八十周年、九十周年の伝統を受け継ぎ、橋田新会長のもと、新しい夕陽会を築いていこう。」という開会の言葉により、いよいよ夕陽会九十周年記念祝賀会が開幕しました。

館田聖徳先生（平成6年卒）の指揮に
よつて、参加者全員の母校に対する思い
を込めた「夕陽贊歌」が会場一杯に響き
渡り、九十周年を祝う想いに会場が一つ
となりました。

その余韻が残る中、挨拶に立たれた橋田恭一新会長（昭和39年卒）は、出席者の最高齢の萩原忠臣参与（昭和5年卒）への敬意を表した後、「夕陽会は、九



十年の時の移り変わりの中で、教育界を中心しながら、様々な分野に英才を輩出してきた。しかし平成十八年度のキャンパス再編により、今後は教育界中心からより多くの場で、活躍する人材が増えよう。夕陽会がそういう仲間を温かく迎えながら、さらに力強く前進していきたい。」との決意を述べられましたさらに「年代を超えて、これから生き方について夢・希望・心を大いに語り合っていく。この語り合いが明日への糧となり、夕陽会の明日へのエネルギーとなる。」と話されました。

次に母校音楽科を中心とする卒業生八名による校歌・学生歌が披露されました。素晴らしい歌声が会場に響き渡り、雰囲気も一気に盛り上がらりました。

記念しての鏡
開きが行われ、
北海道教育厅
学校教育局長
穂積邦彦様を
はじめ、川島
前会長、橋田
新会長を加え
た十四名の方々
が壇上に
進みました。

北海道教育大学夕陽会創立90周年記念祝



壇上には細田辰男顧問（昭和11年卒）も元気な姿を見せられ、全員の木槌が振り下ろされた後、会場は最高潮に達しました。



戻つたよう
に語り合う姿や、世代を超えた出会いに
胸弾ませながら、大いに親交を深める姿
が見られ、九十周年記念祝賀会にふさわ

千春先生（昭和54年卒）本間達也先生
玉手道男文化部長（昭和48年卒）、三島
の雰囲気をさらに盛り上げるようにな
しい歎息溢れる雰囲気に包まれました。

(平成 10
年卒) 等
によるス
ペシャル
バーベ
周年記念祝

ハントが
登場、懐
かしいベ
ンチヤー
ーのト
ウ会創立90

のナウ
ンドを
次々と演
奏し、最



式典でも映し出された六十周年、八十周年の会場を大いに沸かせました。議長（昭和54年卒）もボーカルとして登場

講会場の大スクリーンに、九十周年記念式典でも映し出された六十周年、八十周年記念の式典、祝賀会、夕陽音楽会、夕



に「夕陽」の揃いの法被姿で登壇、小林周次先生（昭和33年卒）の音頭で会場を揺らすような歌声が響き渡りました。余韻が覚めないまま最後の乾杯に移り

函館市教育委員会教育長
多賀谷智様
(昭和45年)

卒)の音頭に
よつて、参会
者の心を一つ
にした一本締

めでお開きとなり、祝賀会も盛会裡に終了しました。

陽書道展、夕陽美術展等の映像が次々と流れされると、あちらこちらで、歓声が上流していました。



創立九十周年記念事業



夕陽会本部 事務局業務分担

1 諸会議（含懇親会）の諸準備	花田 譲（附属小副校長）	庶務部
2 文書の収受、発送及び保管	溝口 幸司（万年橋小長）	
3 会員の慶弔事務		
4 その他、庶務に関すること		
1 通常会費の徴収、支出事務	溝口 幸司（万年橋小長）	財政部
2 基本金及び特別会計の徴収、		
3 予算書、決算書の作成		
4 前納会員に関する事務		
5 その他、財政に関すること		

1 支部組織の編成と組織強化対策	土谷 敬（附属中副校長）	組織部
2 会員の動態調査（支部別、校種別会員名簿）		
3 支部役員名簿等の作成、会員名簿の作成にかかる資料の収集		
4 その他、組織全般に関すること		

1 会員の地位向上対策	鈴木 祐司（中央小長）	研修部
2 会員の個人及び共同研究への助成		
3 支部・ブロックにおける研修活動に対する支援		
4 その他、研修に関すること		

情宣部

伊勢 昭（駒場小長）

「バロックの貴婦人」

寄贈図書の紹介

- 1 「夕陽会報」の発行
2 事務局報の発行
3 その他、情宣に関すること

w e b 委員長

熊谷 光洋（中の沢小長）

長長長（昭和31年卒
元札幌芸術の森美術館館長）

笹野 尚明 氏著

- 夕陽会ホームページの作成とその管理
○ 会員の文化活動に対する支援
○ 文化事業（音楽会・美術展・書道展等）の企画、実施
○ その他、文化に関すること

玉手 道男（本通中長）

- 1 会員の文化活動に対する支援
2 文化事業（音楽会・美術展・書道展等）の企画、実施
3 その他、文化に関すること

本書（株式会社響文社発行）は、著者がドイツ・バイエルン地方の二十六の田園都市を巡り歩き、美とそこにあら精神性に出会った感動をまとめた珠玉の美術紀行である。ドイツ・バイエルン地方にはパロック様式で建てられた数多くの教会や修道院、そしてそれらを飾る彫刻や絵画などの美術作品があることで知られている。

書き出しが、ロマンチック街道の起点であるビュルツブルクの町と世界文化遺産でもある大司教宮殿の記述から始まる。フランケンワインの蘊蓄にまつわる記述は、酒好きの私にはワイングラスを傾けてページをめくりたくなるうまくできたプロ

著者がこれまで美術と携わり、積み上げてきた知識と研ぎ澄ませた感性が単なる建築物の紹介や旅工セイの域を超えて、その空間に漂う空

氣や美術作品が発する小さな声まで鮮明に蘇らせるものとなっている。

また、著者自身が撮影した六十七点の貴重なカラー写真の多くは、さらながらエバーグリーンな一幅の風景画を見るようであり美の絡繰りを知る者ならではのファインダーワークである。幾度見ても見飽きない。

（昭和五十四年卒
組織部
土谷 敬記）

夕陽会ホームページの利用について

夕陽会ホームページはw e b 委員会により、刷新されてから4年が経過しました。今まで約19,000人の方からアクセスがありました。母校や同窓会の活動の様子、各支部の現在など最新の情報を夕陽会員の皆様に提供すべく、更新作業に努力しております。

夕陽会ホームページ の主な情報

会長挨拶、名称由来、教育精神、夕陽記念館、夕陽会の歩み
会員数、組織、規約、会旗、夕陽讃歌経過
母校90周年記念式典、支部・本部掲示板
本部・支部・支会だより、同期会だより、会報紹介、本部会報
渡島支部会報、函館市支部会報、歌のアルバム「讃歌、校歌、寮歌他」
母校の活躍、母校の今日、母校の歩み

映像あり、音楽ありこれまで以上に豊富なコンテンツと母校への思いが深まる工夫が加えられています。ぜひ一度、アクセスしてみてください。

また、個人情報保護法の完全施行にともない、法令の趣旨を遵守し、広報活動の健全性を保つよう努めています。会員の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

<http://www.sekiyou2005.sakura.ne.jp/>

情宣部w e b 委員会委員長 熊谷光洋（昭和50年卒）

平成二十年度 夕陽会本部役員名簿

平成二十年度 支部役員名簿

会幹副副副副副副長 小南後中北松林部藤村嶋坂蘭	会幹副副副副副副長 山松澤川納小柚佐荻形谷谷上玉田藤野	会幹副副副副長 花中間寺堀宇田澤谷島田野	会幹副副副副長 佐山日杉笠石佐々木崎高野原井谷海島館	幹副副長 中鳴碇三佐細市	会幹副副副長 小前竹藤川川林田内	会幹副副副長 渡小阿川助川曾島
寿正重雅 市	知佳博章恭俊雄 市	啓英雅敏 市	祐勇幹利秀 市	幸俊市	幸敬秀基政良 市	秀富島
誠務子志幸行 市	憲淑典博之紀幸春一 市	光学克廣隆昭 合	治優一夫博樹 市	滿裕信博 市	男郎雄英男容 島	浩任樹
昭昭昭昭昭昭 585251484847	昭昭昭昭昭昭 624753525148484746	平昭昭昭昭昭 45149484646	昭昭昭昭昭昭 575549534846	昭昭昭昭昭昭 52544947	昭昭昭昭昭昭 565350494948	昭昭昭 594849
室蘭市 室蘭市 室蘭市 室蘭市	苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦	苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦	苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦 苦苦苦苦苦苦	深川市栗山町 栗山町美唄市 美唄市函館市 函館市函館市	長万部町大沼町 大沼町八雲町 八雲町七飯町 七飯町福島町	木古内町 木古内町 木古内町 木古内町
東明中頭 星蘭中頭	東明中頭 大星光小頭	東明中頭 駒大苦小牧高長	東明中頭 清水小長	東中長 栗山小長	東中長 栗山小長	東部小長 東部小長
給納小長 蘭中長	高砂小長	和光中長	登別中長	栗山中頭 栗山中頭	栗山中頭 栗山中頭	南北海教會センターラ
東中長	明野小長	駒大苦小牧高長	壯警小諭	中長 中長	中長 中長	上ノ国小長 上ノ国小長

ネ ル 展

平成20年6月21日
函館ロワジールホテルにて



港 残 照

函館市支部 土谷 敬
(昭和54年卒)



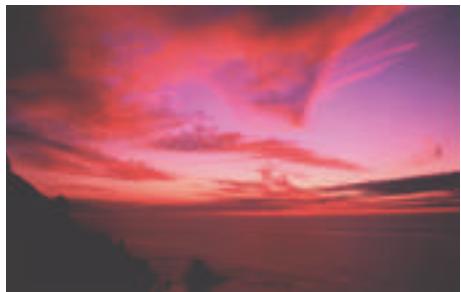
夕陽陽陽陽陽陽

函館市支部 土谷 敬
(昭和54年卒)



知 内 残 照

特別支援学校支部 島津 彰
(昭和48年卒)



祝津海岸の夕暮れ

出品者 小樽市支部 上泉 哲
撮影者不明
(昭和58年卒)



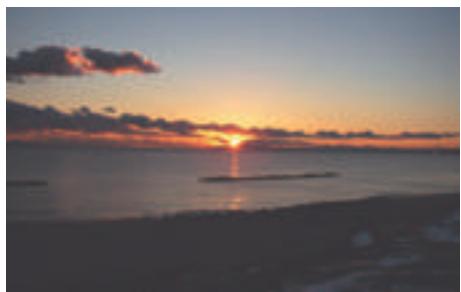
祝津海岸の夕暮れ

出品者 小樽市支部 上泉 哲
撮影者不明
(昭和58年卒)



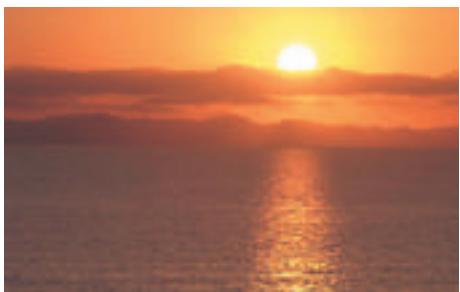
奥尻稲穂にて～日本海に沈む幻想的な夕陽

檜山支部 阿曾 秀任
(昭和47年卒)



津軽海峡の夕暮れ 石崎町

函館市支部 三島 俊博
(昭和47年卒)

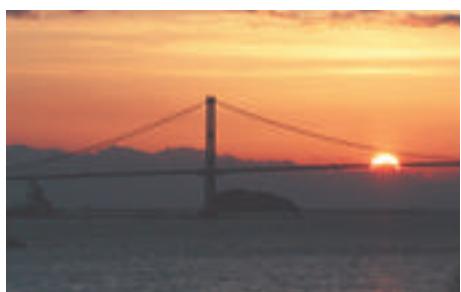


胆振連合支部 村瀬 雄三
(昭和53年卒)



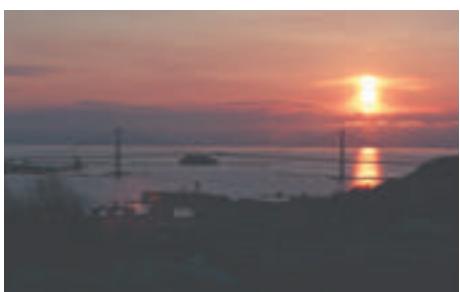
七飯町高速道路より大野平野を望む夕陽

函館市支部 黒崎 勇司
(昭和49年卒)



白鳥大橋に沈む夕陽と大黒島

室蘭市支部 長谷川清敏
(昭和48年卒)



夕陽に染まる白鳥湾

室蘭市支部 長谷川清敏
(昭和48年卒)



秀峰樽前山を望む

苦小牧市支部 澤谷 佳典
(昭和53年卒)

創立90周年記念

夕

陽

パ



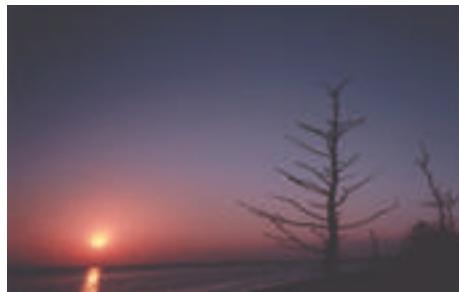
日本海に沈む夕陽

青森西北五支部 木村 修治
(昭和61年卒)

日本海に沈む夕陽

青森西北五支部 木村 修治
(昭和61年卒)

暮 山

函館市支部 土谷 敬
(昭和54年卒)

トドカラと夕陽

特別支援学校支部 島津 彰
(昭和48年卒)

雲間に見える夕陽

特別支援学校支部 志村 克美
(昭和57年卒)

函館山にかかる夕陽

特別支援学校支部 志村 克美
(昭和57年卒)

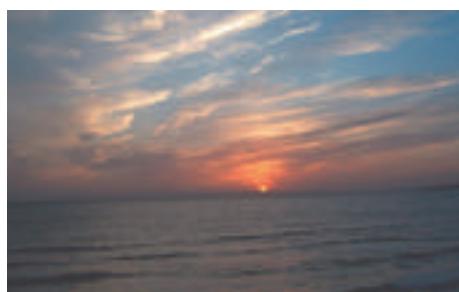
奥尻稲穂にて～日本海に沈む幻想的な夕陽

檜山支部 阿曾 秀任
(昭和47年卒)

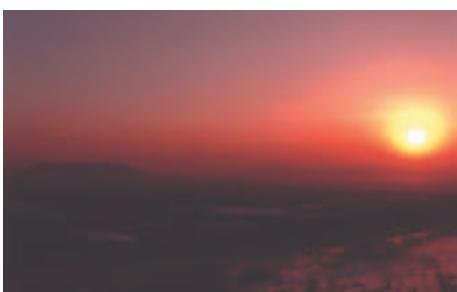
奥尻稲穂にて～日本海に沈む幻想的な夕陽

檜山支部 阿曾 秀任
(昭和47年卒)

津軽海峡の夕暮れ

志海苔町 三島 俊博
(昭和47年卒)

十勝平原に沈む夕陽

檜山支部 林 泰一
(昭和50年卒)十勝支部 德成 達廣
(昭和46年卒)函館市支部 田川 真熙
(昭和44年卒)

北海道教育大学北方教育資料館・夕陽記念館 リニューアル・オープニングセレモニー

北海道教育大学函館校校内に保存されている北海道教育大学北方教育資料館・夕陽記念館がこの度の改修工事を終え、5月24日(土)各地から100名近くの同窓が集い、絶好の五月晴れのもと、同館前でリニューアル・オープニングセレモニーが行われました。

同館は、1914年(大正3年)に開校した北海道函館師範学校の校舎の一部で、1964年の新校舎建設時に取り壊される予定でありましたが、我々夕陽会の強い働きかけもあり、敷地の一角に移築されていました。

以降、移設以来40年が経過し、腐食も全体的に進んできたことから、今年迎えた夕陽会創立90周年記念の事業と一つとして、大規模な改修工事が行われ、建設業者からも今後数十年間は大丈夫という太鼓判を押され、この度のセレモニーとなりました。今回の改修では、腐食や耐震性に対する工事をはじめ、内部の陳列棚なども新設され、内部も公開されました。

セレモニーには、川島孝夫夕陽会会長、本間謙二北海道教育大学長をはじめ、多くの同窓、学生たちが会館前に集い、教育大学吹奏楽団の演奏で夕陽讃歌の齊唱で開式となりました。

川島会長より、今回の改修工事に際して会員の総意があり、また、大学の快諾もあったことから、今回の改修工事を行うことができ、この日を迎えることができたという挨拶がありました。

また、本間学長より、北海道教育大学5分校で、このように歴史ある校舎が保存されているのは、函館だけであることから、北海道教育大学全体の財産としていきたいという挨拶がありました。

ご来賓の祝辞に続いて、今回の工事の施工を請け負い、優れた技術で工事を行った小野建設様に感謝状が贈られました。

最後に、最高齢である細田先輩(S11卒)も加わり、テープカットが行われ、オープンセレモニーを閉じました。

この後、参加者たちは、会館内に入り、懐かしい展示品を見学し、思い出話で盛り上がっていました。



新設された説明板



記念館の内部の様子

第九回 夕陽音楽会

夕陽会主催の、第九回夕陽音楽会が六月十四日函館市芸術ホールで開催されました。この音楽会は四年に一度開かれ、今年は特に夕陽会創立九十周年という節目の年にも当たることから、祝賀ムードの中、混成合唱、リコーダー、ピアノ演奏、児童合唱、吹奏楽など盛りだくさんの内容となりました。今回は、函館市民オペラの会の協力もあり、舞台の上も会場も一体となつて音楽を楽しみました。

会場には、OBや現役学生をはじめ多くの市民が訪れ、舞台に大きな拍手を送つていました。



混成合唱 夕陽混声合唱団



リコーダー合奏 フィオリ・ムジカーリ



吹奏楽 北海道教育大学附属函館中学校音楽部



児童合唱 函館市立北美原小学校合唱部

♪バリトン独唱…シューマン歌曲集「ミルテの花」より

独唱：佐藤圭佑

♪ピアノ二重奏 ……ラフマニノフ「組曲第2番」より

重奏：藤嶋恵子・杉村千尋

♪吹奏楽《北海道教育大学附属函館中学校音楽部》

「シンフォニエッタ」(福島弘和)他 指揮：嶋田歩

♪オペラ・ドリームズ《函館市民オペラの会》

「トゥーランドット」他 指揮：玉手道男

♪混声合唱《夕陽混声合唱団》

「ハレルヤ」(ヘンデル)他

指揮：大村義美

♪リコーダー合奏《フィオリ・ムジカーリ》

「ソナタヘ長調」(ヘンデル)他 重奏：宍戸良子ほか

♪ピアノ独奏 …… ムソルグスキー「展覧会の絵」より

独奏：吉本有佑

♪児童合唱《函館市立北美原小学校合唱団》

組曲「虹がなければ」より他

指揮：山崎輝美

